

東寺百合文書

十一 千國三

京都府立総合資料館

京都府立総合資料館編

東寺百合文書十一

千函三

思文閣出版

とう じりゃくごうもんじょ
東寺百合文書 十一

2014(平成26)年10月1日 発行

定価：本体 9,500円(税別)

編 者 京都府立総合資料館

発行者 田中 大

発行所 株式会社思文閣出版
605-0089 京都市東山区元町355
電話 075-751-1781(代表)

印刷 株式会社 図書 同 朋 舎
製 本 印刷

© Printed in Japan ISBN978-4-7842-1759-5 C3321

凡例

所収の対象

一 本書は当館が所蔵する東寺百合文書を翻刻出版するものである。ほかに、当館には文書が現存しないが、東京大学史料編纂所架蔵の影写本に納められている文書をも補遺として収録する。

刊行の順序

一 翻刻出版は、函別として片仮名の函から順次行う。その第十一巻には「子函」の残部を収めた。

文書の配列

一 文書の配列は、当館編『東寺百合文書目録』の順による。そのあとに同目録刊行後、新たに加えられた文書を配し、最後に補遺を加える。同目録は、欠年文書のうち年次推定可能なものも注記にとどめ、年次未詳として扱っているので、結果として編年順にはならない。

料紙

一 料紙のうち、特に注意を要するものは（宿紙）（白紙）等と記した。堅紙は用法を省略し、それ以外は（折紙）（切紙）等で用法を表した。影写本から収録したものについては、料紙表示を省略した。

装丁の形態

一 複数の料紙からなるものは、（続紙）（袋綴）等の形態を記し、紙数を付した。

紙継目

一 用紙の変わり目は本文中に……で表した。文字が紙継目を渡っている場合は、紙継目の右側に移した。

寸法

字体

符号の用例

花押・印章

本文以外の
部分名称

付属書類

傍注

注記

一寸法は、センチメートルを単位として、縦×横の順に記した。

一字体は常用漢字を原則とし、頻出する異体字を限定的に使用した。

一塗抹のある文字には、抹消符、(墨抹)、(朱抹)を左傍に加え、原字の不明なものは、■に置き換えた。欠損・解読不能の文字は□に置き換え、字数不明の場合はこれを

延長した形を用いた。前欠は「(前欠)」、後欠は「(後欠)」とした。改行

の体裁を改めたものに改行符』を使用し、朱字は「」で囲んで肩に*を付した。ただし朱の合点は破線とした。

一花押・印章については(花押)・[印]・[印]で所在を示し、自署も含め巻末に一覧を掲載した。
一本文以外の部分は「」で囲んで側に(端裏書)(切封上書)等と表示した。封じ目は(墨引)で示した。

一封紙・附箋・押紙等の文字は「」で囲み、側に(封紙)(附箋)(押紙)等と表示した。
一不明文字の推定および人名・地名・年代等に関する編者の校訂結果は、その文字・文言の横に、()で囲んで傍注した。部分の位置や文字の改竄・磨消の状態は○に続けて傍注した。

一正文の所在、本紙・封紙の結合等、文書の全体に係わる注記は、一点の最後に記した。
ただし一点が数通からなる文書の全体に係わる注記は、一通目の前に記した。

京都府立総合資料館

東寺百合文書 十一

目次

〔東寺百合文書 千函〕（承前）

一一五	享德四年二月 日	五方算用狀……………	一
一二六	康正元年十月四日	室町幕府奉行人連署奉書案……………	一七
一二七	康正貳年正月晦日	五方算用狀……………	一八
一一八	康正三年九月十日	室町幕府奉行人連署奉書案……………	三五
一一九	長祿元年十一月廿一日	室町幕府奉行人連署奉書……………	三六
一二〇	長祿二年三月十九日	摂津国垂水莊代官和泉入道慶徳 榎木 書狀……………	三六
一二一	長祿二年卯月二日	摂津国垂水莊代官和泉入道慶徳 榎木 書狀……………	三七
一二二	長祿二年八月廿九日	摂津国垂水莊代官和泉入道慶徳 榎木 書狀……………	三九
一二三	長祿三年十一月十八日	摂津国垂水莊代官和泉入道慶徳 榎木 書狀……………	四〇
一二四	長祿三年十二月廿六日	摂津国垂水莊代官和泉入道慶徳 榎木 書狀封紙……………	四二

一二五	寛正二年五月六日	山城国上野莊内千代原西跡以下在地注文	四三
一二六	寛正二年十月廿四日	山城国上野莊百姓次郎三郎作分下地注文	四五
一二七	寛正三年十二月 日	実心禪尼仏事田年貢算用状	四六
一二八	寛正四年十月廿六日	勘解由小路在盛陳状案	四七
一二九	寛正五年正月 日	五方算用状	四八
一三〇	寛正六年十二月 日	摂津国垂水莊浜見出田注文	六三
一三一	文正元年三月四日	室町幕府奉行人連署奉書案	六四
一三二	応仁三年正月十九日	郷原資近書状	六四
一三三	文明九年五月十五日	山崎国正書状案	六六
一三四	文明十年八月 日	東寺雜掌申状案	六六
一三五	文明十年八月廿三日	室町幕府奉行人連署奉書案	六七
一三六	文明十年八月廿三日	室町幕府奉行人連署奉書案	六八
一三七	文明十年九月廿六日	廿一口供僧方仕足算用状(前欠)	六九
一三八	文明十一年五月 日	東寺雜掌申状案	八二
一三九	文明十二年二月十八日	檜皮大工職補任状案	八三

一四〇	文明十八年九月七日	御影堂聖代明賢起請文……………	八四
一四一	文明十九年七月廿九日	太郎次郎闕所家代注文……………	八四
一四二	（長享） チヤウキヤウ二年三月日	寺内落書……………	八五
一四三	長享貳年十二月十五日	百姓徳阿弥等連署申状……………	八七
一四四	明応貳年十一月十七日	山城国上野莊百姓右衛門九郎書状……………	八七
一四五	明応六年六月廿八日	山城国上野莊用水一献料請取状……………	八九
一四六	明応六年十二月日	款冬田等支証包紙……………	九〇
一四七	明応八年十月十四日	室町幕府奉行人連署奉書……………	九〇
一四八	文亀三年十月日	東寺雜掌陳状……………	九一
一四九	永正三年三月十六日	東寺領山城国近年押領所々注文……………	九三
一五〇	永正五年	進上松茸折注文……………	九四
一五一	永正六年六月廿六日	宰相栄賢書状封紙……………	九五
一五二	永正六年七月廿五日	宮内卿杲憲籠衆法式請文……………	九六
一五三	永正八年十二月晦日	岡本祐春田地壳券案（前欠）……………	九七
一五四	永正八年	廿一口供僧方永正八年分文書包紙……………	九八

一五五	永正九年 卯月廿八日	增長院宗演等連署置文	九八
一五六	永正九年 ^(閏) 壬四月二日	敬性請文	九九
一五七	永正九年 五月八日	乘薰仏事田年貢米請文	一〇〇
一五八	永正九年十一月七日	室町幕府奉行人連署奉書案	一〇一
一五九	永正十年 二月廿四日	仏事方未進注文	一〇二
一六〇	永正十年十二月廿一日	三河祐榮請文	一〇七
一六一	永正十二年 三月廿七日	執行・聖・三綱連署起請文	一〇七
一六二	永正十二年 三月廿七日	中綱・西院北面預・納所等連署起請文	一一〇
一六三	永正十二年 三月廿七日	廿一口方供僧連署起請文	一一二
一六四	永正十二年十二月十三日	金勝院杲琛書狀案	一一五
一六五	永正十三年 六月廿六日	室町幕府奉行人連署奉書案	一一五
一六六	永正十三年 九月廿一日	朱雀用水相論文書	一一六
	(一) 永正十三年 九月廿一日	室町幕府奉行人連署奉書案	一一六
	(二) 永正十三年 九月廿一日	室町幕府奉行人連署奉書抄	一一七
一六七	永正十三年十一月三日	金勝院杲琛書狀案	一一八

(紙背)(永正十三年)

金勝院杲琛書狀土代

一一九

一六八

永正十五年十二月廿八日

入道宗椿野村礼錢請取狀

一二一

一六九

永正拾六年二月 日

五方算用狀

一二一

一七〇

永正拾七年二月 日

五方算用狀

一三五

一七一

永正十八年二月 日

五方算用狀

一四八

一七二

永正十八年三月十五日

仏事方捧物未進注文

一六三

一七三

永正十八年三月廿六日

乘觀祐春未進年貢請文

一六五

一七四

永正十八年六月三日

慶一淨甚一方納所職請文

一六六

一七五

永正十八年六月三日

円秀祐富一方納所職請文

一六七

一七六

大永貳年二月 日

五方算用狀

一六七

一七七

大永貳年九月十七日

赤沢貞綱珍皇寺供養料足請返狀

一八三

一七八

大永三年十一月三日

金勝院杲琛書狀案

一八四

一七九

大永三年十一月十七日

生身供米算用狀

一八五

一八〇

大永參年十二月十九日

淨琳寿祐借錢算用狀

一八六

一八一

大永三年

仏事方文書

一八七

	(一)	仏事方藏未進分并過上分注文……………	一八七
	(二)大永三年	仏事料足注文……………	一九〇
	(三)	奉行得分等注文……………	一九一
	(四)	点札下地注文……………	一九三
	(五)大永三年	仏事方点札下地注文……………	一九三
一八二	大永三年	浮足方未進人数注文……………	一九四
一八三	大永二年四月廿三日	寺内町等在家注文……………	一九五
一八四	大永七年四月廿四日	借用料足注文……………	二〇七
一八五	大永七年四月廿八日	上野浄寿仏事田未進年貢請文……………	二〇八
一八六	享禄元年十二月廿四日	下野浄成等連署起請文……………	二〇九
一八七	享禄貳年貳月十三日	浮足方算用状……………	二一二
一八八	享禄二年四月廿三日	三河祐荣名主分年貢請文……………	二二五
一八九	享禄貳年八月廿六日	久富長徳折紙案……………	二二六
一九〇	享禄三年二月 日	五方算用状……………	二二六
一九一	享禄参年三月廿日	乗観祐春起請文……………	二三八

一九二	享祿三年十月十七日	備前祐清・隨勝壽盛連署請文案……………	二二九
一九三	享祿四年九月十九日	柳本甚次郎折紙案……………	二四〇
一九四	享祿四年十月十三日	茨木長隆折紙案……………	二四一
一九五	享祿四年十一月十日	公文所下野淨成書狀案……………	二四一
一九六	享祿四年	廿一口供僧方享祿四年分文書包紙……………	二四二
一九七	天文貳年十月十七日	吉祥院相論入足注文……………	二四三
一九八	天文二年	廿一口供僧方天文二年分文書包紙……………	二四六
一九九	天文四年九月晦日	寒川千代市丸代忠仁請文案（本文省略）……………	二四六
二〇〇	天文四年十月七日	茨木長隆奉書案……………	二四六
二〇一	天文八年二月 日	五方算用狀……………	二四七
二〇二	天文十六年七月廿二日	宝菩提院亮惠等連署料足預狀……………	二五五
二〇三	天文十七年十二月晦日	光明院堯田等連署祠堂錢借狀……………	二五五
二〇四	天文十八年十二月五日	大和国河原城莊公用錢支配狀……………	二五六
二〇五	天文十九年三月十八日	善幸等連署請文……………	二六一
二〇六	天文廿年三月六日	光明院堯田等連署教令院方料足借狀案……………	二六一

二〇七	天文廿年三月六日	教令院方料足借用注文	二六二
二〇八	天文廿年十二月九日	五方算用状	二六三
二〇九	天文廿年十二月九日	浮足方算用状	二七一
二一〇	天文廿年十二月十三日	肥前淨仙料足下行注文	二九四
二一一	天文廿三年正月晦日	宝嚴院祐重起請文	二九七
二一二	弘治貳年十二月廿三日	三好長慶折紙案	二九八
	(一) 弘治貳年十二月廿三日	三好長慶折紙案	二九八
	(二) 弘治貳年十二月廿三日	三好長慶折紙案	二九九
二二三	弘治二年十二月晦日	行海起請文	二九九
二二四	弘治三年正月廿四日	某起請文案	三〇〇
	(紙背)	敬定起請文包紙	三〇一
二二五	弘治三年二月十九日	太郎左衛門起請文	三〇一
二二六	弘治參年八月十四日	宮仕与四郎請文	三〇二
二二七	永祿十一年	学衆方評定引付	三〇三
二二八	天正九年十二月廿一日	宗信請文	三〇三

二一九	天正九年	治部卿榮壽請文等包紙……………	三〇四
二二〇	戊戌 二月卅日	借錢算用狀（前欠）……………	三〇四
二二一	（応永二十一年）正月七日	斎藤基喜書狀（下部欠）……………	三〇七
二二二	正月十九日	吉川満元書狀……………	三〇八
二二三	（永仁二年）二月一日	加治木頼平書狀……………	三〇九
二二四	（応永三十三年）二月十五日	公文所越後賢増奉書案……………	三一二
二二五	二月廿八日	神泉苑礼錢注文……………	三一二
二二六	三月廿八日	播磨国矢野莊田所本位田家延書狀……………	三一六
二二七	卯月六日	観智院榮盛・宝厳院祐重連署書狀土代……………	三一六
二二八	四月六日	竹内季治書狀案……………	三一七
二二九	卯月七日	仏事方皆未進人数注文……………	三一八
二三〇	（応永十七年）卯月九日	性好 依藤 奉書……………	三二〇
二三一	卯月十二日	山城国桂御莊中貞等連署書狀……………	三二〇
二三二	（応永三十三年）卯月十三日	法輪院賢慶書狀……………	三二二
二三三	卯月十八日	石井豊安書狀……………	三二二

二三四	卯月廿二日	安井宗運書狀案	三三四
二三五	四月廿九日	雅齋書狀	三三五
二三六	(嘉吉三年) 五月十二日	榎木道重書狀	三三六
二三七	五月十三日	東寺雜掌宮野淨壽書狀案	三三七
二三八	五月十六日	僧善見書狀	三三八
二三九	五月廿日	柚留木為頼書狀	三三三
二四〇	六月十三日	宝巖院祐重書狀案	三三三
二四一	六月廿日	トヨタしんさゑもん書狀	三三四
二四二	(天文二年) 六月廿六日	後奈良天皇女房奉書	三三五
二四三	七月九日	性松 赤松義則 書狀	三三七
二四四	(応長元年) 七月十日	喜樂房円豎書狀	三三七
二四五	七月廿二日	宝巖院祐重・觀智院栄盛連署書狀案	三三八
二四六	七月廿二日	宝菩提院亮惠書狀	三四〇
二四七	七月廿五日	仏乘院光深意見狀	三四〇
二四八	七月廿五日	藤岡直綱・加成光長連署書狀案	三四一

二四九	七月廿六日	撰津国垂水莊東寺沙汰人真儀書狀……………	三四一
二五〇	(天文二年)七月廿七日	某書狀案……………	三四二
二五一	(応永二十八年)八月九日	三宝院門跡 滿濟 御教書……………	三四四
二五二	(貞和四年)八月十一日	足利直義施行狀封紙……………	三四四
二五三	(永正十三年)九月廿七日	東七条三郎衛門并惣中書狀案……………	三四五
二五四	(寛正四年)九月廿九日	伝奏広橋綱光奉書……………	三四五
二五五	十月二日	学衆方公文乗觀祐円注進狀案……………	三四六
二五六	十月二日	(図之) □田俊貞書狀……………	三四七
二五七	十月二日	宝厳院宝清書狀案……………	三四七
二五八	(応永二十年)十月八日	上乘院光実書狀……………	三四八
二五九	(応永三十四年)十月十日	法輪院賢慶書狀……………	三四九
二六〇	十月十一日	森清長書狀案……………	三五一
二六一	(明応七年)十月十四日	室町幕府奉行人連署奉書案……………	三五二
二六二	(天文四年)十月十七日	木沢長政書狀案……………	三五二
二六三	(応永二十三年)十月廿日	上乘院光実書狀……………	三五三

二六四	十月廿三日	某書狀案	三五五
二六五	(天文十八年)十月廿四日	山城国下久世莊公文久世春弘書狀	三五六
二六六	(応永三十三年)十月廿七日	法輪院賢慶書狀	三五六
二六七	十一月三日	松田英致書狀	三五九
二六八	(明応八年)十一月三日	法雲寺集雍書狀	三五九
二六九	(応永十五年)十一月四日	性好 依藤 書狀	三六〇
二七〇	(永正十三年)十一月八日	松田英致書狀案	三六一
二七一	(永正十三年)十一月八日	松田英致書狀案(本文省略)	三六二
二七二	(永正十三年)十一月十日	松田英致書狀案(本文省略)	三六二
二七三	十一月廿二日	清貞秀書狀	三六二
二七四	(天文十八年)十一月廿六日	山城国上久世莊和田光貞・利倉久盛連署書狀	三六二
二七五	十二月五日	大和国河原城莊公用錢仕足注文	三六三
二七六	(寛正四年)十二月五日	摂津国垂水莊代官榎木道重・公文代浄衍連署書狀	三六四
二七七	(長祿四年)十二月八日	僧教見書狀	三六五
二七八	(長祿四年)十二月十二日	僧教見書狀	三六六